



株主の みなさまへ

第62期中間報告書

平成30年3月21日～平成30年9月20日

 ヤマナカ

株主のみなさまへ



笑顔あふれる 食品スーパーマーケットを極める!!

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

ここに、第62期中間期(平成30年3月21日から平成30年9月20日)の報告書をお届けいたします。

株式会社ヤマナカ 代表取締役社長 中野 義久

Q1 当第2四半期の取り組みはいかがでしたか。

当社グループは、2022年の創業100周年を飛躍の年とするために、平成31年3月期を初年度とする中期3ヵ年計画を策定し、持続的成長に向けた構造改革に全社を挙げて取り組んでおります。商品政策では、地域のお客様のニーズに対応した商品の見直しや簡便・健康などをテーマにした商品の拡充を図り、販売政策では、日常のお買い物にお困りの高齢者など地域社会の課題解決に貢献するため、平成30年5月より西枇杷フランテ館(愛知県清須市)を拠点とするエリアで、「ヤマナカの移動スーパー わいわい号」として移動販売事業を開始しました。また、天候不順対策として雨の日にご来店いただいたお客様へポイントを進呈する「雨の日スタンプカード」の実施やエリア戦略に基づく近隣店舗合同でのチラシ強化などの販売促進策を実施してまいりました。

店舗政策では、既存店活性化策として平成30年3月にアスティ店(名古屋市千種区)のベーカリー売場をテナントから当社直営の「ラ・サンテ」へ改装、6月に知多店(愛知県知多市)の改装を実施いたしました。

Q2 当第2四半期の業績及び通期の業績の見通しはいかがですか。

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は490億50百万円、(前年同期比1.0%減)、営業利益は2億98百万円(前年同期は32百万円の営業損失)、経常利益は3億42百万円(前年同期は6百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億32百万円(前年同期比422.9%増)となりました。

平成31年3月期の連結業績予想は、営業収益984億70百万円、営業利益5億80百万円、経常利益6億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億50百万円を目指してまいります。

Q3 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

当期の中間配当金につきましては、1株につき5円とさせていただきます。

今後も厳しい経営環境が続くものと予想されますが、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第62期 通期連結業績予想

中期3ヵ年計画のビジョン

笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す

- 1 お客様が鮮度・品質・活気・まごころを感じ「私のお店」と親しく声をかけていただける店舗になる
- 2 従業員がやりがいを持っていきいきと働き「私の会社」と誇りをもって言える会社になる
- 3 株主、取引先、金融機関から信頼される企業になる

営業収益 98,470百万円 (前期比 1.6%減)

営業利益 580百万円 (前期比417.6%増)

経常利益 640百万円 (前期比186.9%増)

親会社株主に帰属する当期純利益 350百万円 (前期比305.4%増)

TOPICS

移動販売事業を開始いたしました

近年の少子高齢化、自家用車を持たない世帯の増加などの社会環境の変化を受け、地域社会では日常のお買物が不便な環境にある消費者への対策が課題となっております。地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様にご自宅の近くでお買物をしていただける環境を提供することで、地域社会の課題解決に貢献をすることを目的とし、このたび移動販売事業を開始いたしました。

移動販売車の名称は従業員からアイデアを公募し、お客様にわいわい楽しくお買物をしていただく場を提供したいという思いを込めて、「ヤマナカの移動スーパー わいわい号」に決定いたしました。平成30年5月7日(月)より愛知県清須市「西枇杷ランテ館」を拠点とするエリアを皮切りに、日常のお買物にお困りの高齢者など地域のお客様のもとを、当社で販売する新鮮な食材や日用品等を載せた移動販売車で巡回し、販売いたします。



認知症サポーター養成講座を受講いたしました

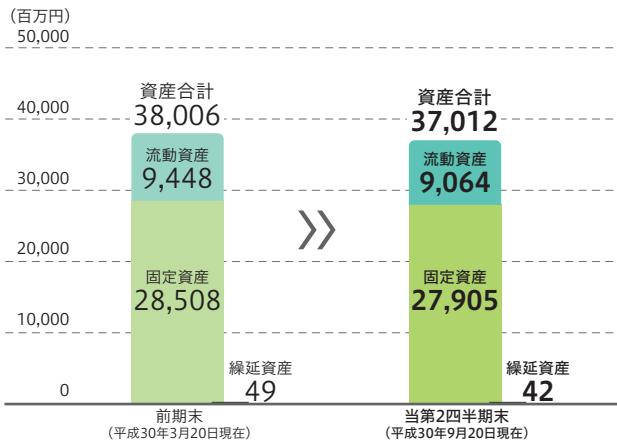
ヤマナカでは、従業員一人ひとりが認知症のお客様に対して自分に何ができるかを考えてサポートできるお店作りを目的とし、新店・リニューアル店舗の従業員を中心に、認知症サポーター講習の受講を推進しています。

平成30年6月28日にはヤマナカ知多店の従業員が認知症サポーター養成講座を受講いたしました。

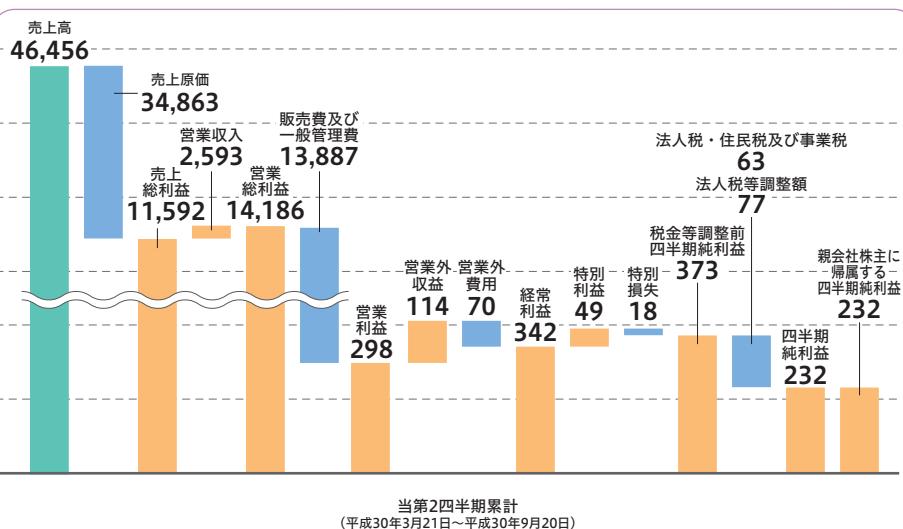
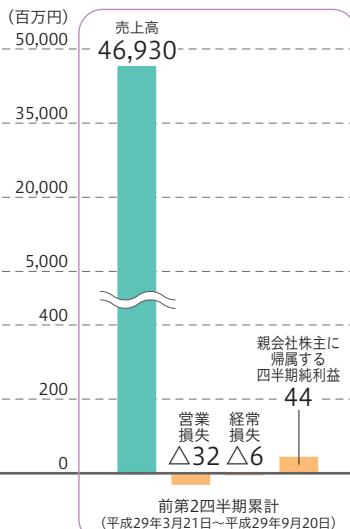


連結財務ハイライト

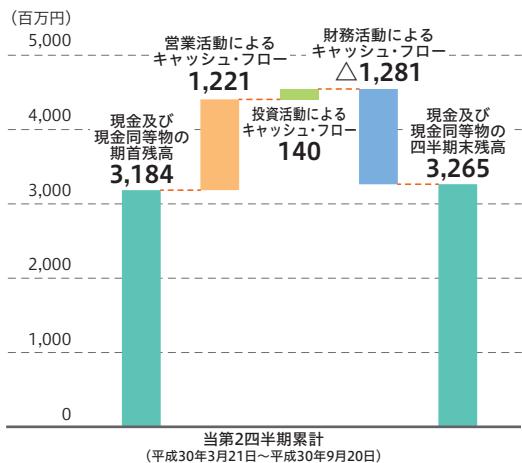
連結貸借対照表



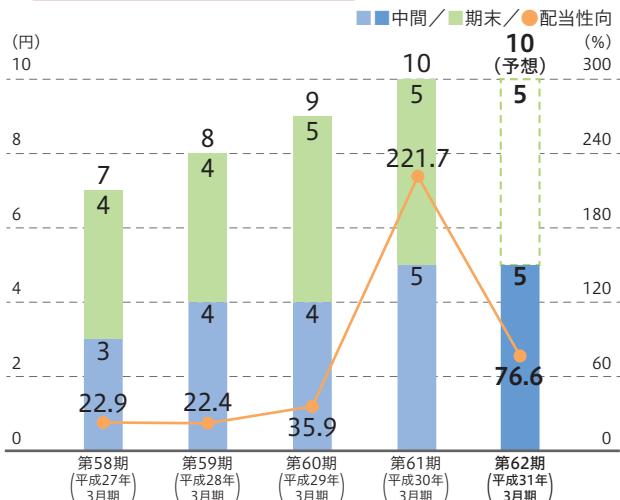
連結損益計算書



連結キャッシュ・フロー計算書



配当性向・配当金の推移

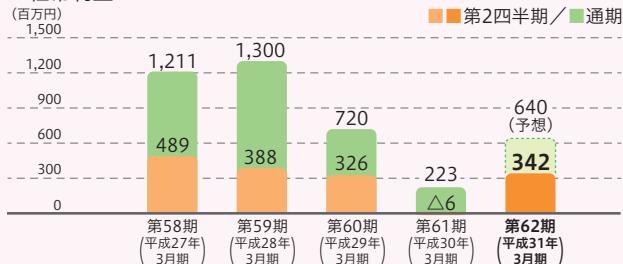


年間推移

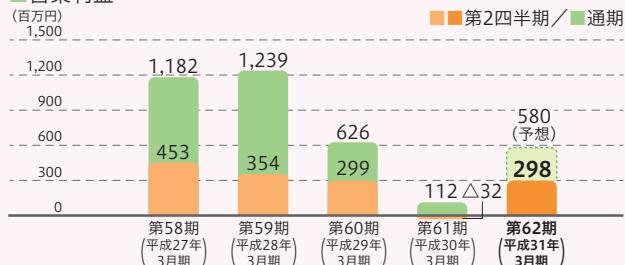
営業収益 (売上高 + 営業収入)



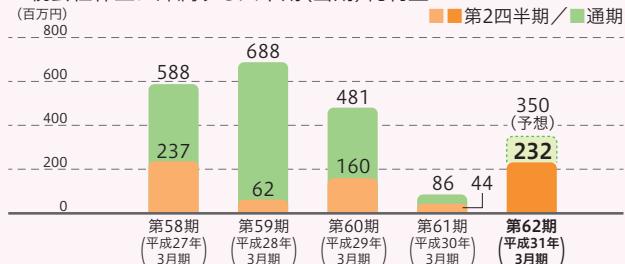
経常利益



営業利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



店舗情報

Pick up!

「ヤマナカ知多店」リニューアルオープン



平成30年7月6日(金)に、愛知県知多市にしの台にヤマナカ知多店(旧:知多フランテ館)をリニューアルオープンいたしました。

知多地区において、“ヤマナカブランド”をさらに浸透させ、その中でも中心的な店舗になるべく、営業形態を「フランテ館」から「ヤマナカ」へ変更いたしました。

鮮度品質へのこだわりはもちろん、品揃えの見直し、出来立て・作り立て、地産地消、簡便商材の展開強化などに取り組み、また、セルフ精算レジの導入によりレジ精算業務の効率化を図りました。



セルフ精算レジ

店舗一覧

全64店舗

(平成30年9月20日現在)

ヤマナカのビジョン

笑顔あふれる食品スーパーマーケットを極め、東海地区No.1の誇れる企業を目指す

● …ヤマナカ

★ …フランテ

尾張地区

11店

岐阜県

2店

三重県

3店

名古屋市内

25店

知多地区

8店

三河地区

15店

企業データ・株主メモ

会社概要

(平成30年9月20日現在)

●会社の概要

商号	株式会社ヤマナカ
事業内容	スーパーマーケット事業及び小売周辺事業
本社	名古屋市東区葵三丁目15番31号
創業	大正11年2月
設立	昭和32年7月
資本金	42億2,061万円
従業員数	社員894名 パート社員2,673名(8時間勤務換算)

●主なグループ会社

株式会社アイビー プレミアムサポート株式会社 サンデイリー株式会社

●役員一覧

(平成30年9月20日現在)

[取締役及び監査役]			
代表取締役社長執行役員	中野 義久	常 勤 監 査 役	福 井 久 造
取締役副社長執行役員	小川 達也	監 査 役(社 外)	杉 本 孝 司
取締役専務執行役員	大山 秀樹	監 査 役(社 外)	笠 松 栄 治
取 締 役(社 外)	吉 田 雅 樹		
[執行役員] (取締役兼務者を除く)			
常 務 執 行 役 員	高 田 博 司	執 行 役 員	笹 尾 清 隆
執 行 役 員	岡 本 哲 也	執 行 役 員	安 井 英 和

株式の状況

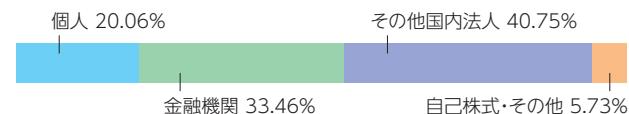
(平成30年9月20日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,425,218株*
	※自己株式1,162,061株を含む
当第2四半期末株主数	2,449名

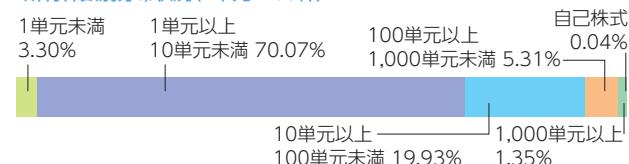
株式分布状況

(平成30年9月20日現在)

●所有者別分布状況



●所有株数別分布状況(1単元:100株)



株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	毎年6月(ただし20日までに開催)
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月20日 期末配当金 毎年3月20日 中間配当金 毎年9月20日

上場証券取引所 名古屋証券取引所 市場第二部
(証券コード8190)

単元株式数 100株

公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

公告掲載URL

<http://www.super-yamanaka.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

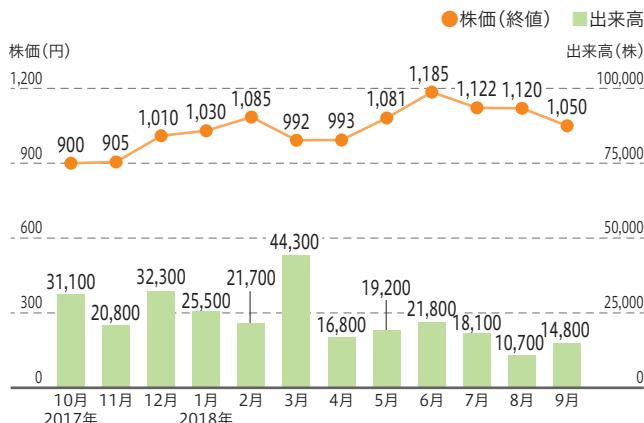
同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。

株価と出来高の推移



『ヤマナカは2022年で創業100周年』

ヤマナカ100年の物語 ④

昭和32年(1957年)、ヤマナカの名物「東海道」が誕生しました。今川焼を焼きたてで提供する「御座候」(兵庫県姫路市)の魅力に中野富七(創業者)の長男富彦がほれ込み、指導を仰いで、ヤマナカの店(正木町)で販売を開始したのです。北海道小豆を餡に用いた1個10円の菓子は抜群の人気を博しました。

ヤマナカが戦後、再開して10周年にあたる昭和35年(1960年)には、セルフ・サービス化に対応すべく、資本金を2百万円から5百万円へ増資し、店を大幅に改装しました。さらに卵は木箱で、味噌は木樽で小売店に納品される時代、お客様が商品をカゴに入れやすいよう、従業員が小分けして計量

し、ポリ袋などで包装をし直す作業も必要でした。従業員は包装に悪戦苦闘しましたが、改善を重ねるうちに慣れていきました。



春日井店の開店風景

昭和35年(1960年)12月3日、店は名古屋初のスーパーマーケット「ヤマナカ フードセンター」へ生まれ変わりました。対面販売とは違うセルフ・サービスの売場にまごつかないように、富彦の指揮のもと、従業員はおお客様の誘導に心を配りました。

昭和37年(1962年)には、スーパー2号店となる庄内店を西区に出店、以降、春日井店、勝川店、岡崎店をオープンし、チェーン化は着々と進展。これらと並行して、従業員の新規採用、スーパー化にふさわしい組織づくりも進められました。

株主優待制度のご案内

株主優待品として自社取扱商品(米、プライベートブランド商品)を進呈させていただきます。

対象となる株主様

毎年3月20日現在において100株以上所有の株主様を対象とさせていただきます。

100株以上1,000株未満

自社取扱商品(1,500円相当)



ご優待の内容

所有株式数に応じて自社取扱商品を毎年5月下旬にお届けいたします。

1,000株以上

自社取扱商品(3,500円相当)



※写真は、今年の株主優待品です。

ヤマナカホームページのご案内

ヤマナカのホームページでは、様々なお知らせを掲載しております。

お客様サイトでは、デジタルチラシの掲載やキャンペーンのご案内等、お客様に耳寄りな情報を発信しております。また、企業サイトではニュースリリースやIR情報のご案内等を掲載しております。ぜひご活用ください。



株式会社ヤマナカ

〒461-8608 愛知県名古屋市中区東区葵三丁目15番31号
<http://www.super-yamanaka.co.jp>

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。